あなたのライフプランに投資信託　考えてみませんか？

投信フォーラム2013 in 徳島

資産運用の有効な手段として注目が集まっている投資信託について理解を深めてもらおうと「投信フォーラム2013 in 徳島」（主催・一般社団法人投資信託協会、徳島新聞社、全国地方新聞社連合会）が12月14日、徳島市内の新聞放送会館で開かれました。第1部では徳島市出身の料理研究家、浜田陽子さんが特別講演を行い、第2部ではファイナンシャルプランナーの深野康彦さんが投資信託を活用した資産運用の考え方について解説。引き続き、深野さんと運用会社である大和証券投資信託委託株式会社の秋元幸江さんとの対談が行われ、約250人の参加者が熱心に耳を傾けました。

第1部 特別講演

仕事で出逢った素敵な人コト・変な人コト

講師

浜田 陽子 氏

料理研究家・フードコーディネーター・栄養士

徳島市で生まれ育ち、結婚して2人の子どもに恵まれましたが、26歳で離婚。専業主婦だった私は何とか生活力をつけたいと思い、栄養士の資格を生かして料理の仕事を始めました。テレビや雑誌で料理の仕事をする時は料理研究家という肩書きを使うことが多いのですが、フードコーディネーターという立場で企業の販促やPR、コンサルティング、テレビ番組の構成などもやっています。

資金もコネもない状態で起業しましたが、最初から具体的な目標がありました。その一つがサラリーマンの平均年収の3倍稼ぐこと。そのかわり人の3倍働こうと決心しました。レシピを1品出してほしいと言われたら3品分提案したり、コラムをつけたりと、相手の望む以上の対応をするように心掛けてきました。

仕事を始めたころ一人の起業仲間と出逢いました。彼は、あえて自分が試されるような道を選ぶ、という生き方をしていました。彼の姿勢に刺激されて、私も常に自分が鍛えられるような道を選んできました。それが今の自分につながっていると思います。

料理の仕事では「レシピ通りに作ったのに仕上がりが違う」などの電話をいただくことがあります。よく話を聞いてみると前提となる食材が違っていることも。そんな一つ一つの経験が今後につながる貴重な勉強だと思っています。

私の資産はやはり「人」です。一生懸命に取り組めば、またいつか関わりたいと思って下さる。そんな小さなつながりが積み重なって現在の私があると感謝しています。今は目指す地点のまだ一合目ほどです。まだまだ頑張らなければなりません。その理由はいつか民間で子どもの施設を作ることが目標だからです。そんな夢の実現に向かって、これからも人との出会いを大切にして、何事にも一生懸命に取り組んでいきたいと思います。

はまだ　ようこ●徳島市出身。地元短大を卒業後、徳島と東京で起業。現在は東京で株式会社Ｓｔｕｄｉｏ　ｃｏｏｄｙ（スタジオコーディー）代表取締役。「生活習慣病」「食育」「ダイエット」「乳幼児栄養」「妊産婦栄養」を専門分野とし、心と体に美味しいレシピを提案する。雑誌・新聞・ＷＥＢへのレシピ提供や連載のほかＴＶ・ラジオへの出演、番組制作にも関わっている。視聴世帯ナンバーワンの通販番組ではカリスマゲスト料理研究家「浜田ママ」の愛称でお馴染み。2児のシングル母。

第2部 FPによる投資信託セミナー

投資信託を活用した資産運用の考え方

～デフレからインフレへの大転換が始まる～

講師

深野 康彦 氏

ファイナンシャルプランナー　有限会社ファイナンシャルリサーチ代表

インフレ時代に合った資産運用が必要

アベノミクスによる「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」という3本の矢が功を奏して、日本経済は長く続いたデフレ時代からようやく脱却しようとしています。消費者物価指数も急速に上昇しており、経済環境はデフレからインフレへと大転換を遂げつつあるのです。

デフレ局面ではお金をそのまま持っているだけで価値が上がるため、現役世代よりもリタイア世代の方が恵まれていました。しかしインフレで最も影響を受けるのがリタイア世代です。今後、公的年金は減額されるほか、物価上昇場面ではマクロ経済スライドの導入により、公的年金の上昇率は物価上昇率より低く抑えられる仕組みです。年金生活者は収入減と物価上昇の両方に苦しめられることになるのです。さらに70～74歳の健康保険料の負担増、消費税増税なども視野に入れると、リタイア層の購買力は低下し、生活は一層厳しくなると思われます。もちろん現役世代も物価上昇に合わせて給与がどの程度増額されるのかは不透明であり、リタイア世代ほど深刻ではないにせよ影響はあるでしょう。

インフレ時代に突入する今こそ、資産運用にも新たな発想と戦略が必要です。リタイア層により積極的な運用は勧めませんが、少なくとも貨幣価値の目減りを防げる分、言い換えると消費者物価指数の上昇率2%以上、税金を考慮すれば2・5～3%以上の収益を確保するような資産運用をする必要があると考えられます。

投資信託のメリットは少額からの分散投資

投資を始める前にぜひしていただきたいのが保有資産の色分けです。「日常的に使うお金」「一定期間後に使うお金」「家族に残すお金」などに分けて、残った余裕資金を投資にまわしてください。1月からは個人投資家向けの税制優遇措置として「ＮＩＳＡ（ニーサ・少額投資非課税制度）」がスタートします。20歳以上の日本国内居住者を対象として、1年間100万円までの投資に対して、配当金や譲渡益などを5年間非課税にするというものです。制度をよく理解した上でぜひご活用いただきたいと思います。

資産運用にはリスクがつきものですが、これからはリスクと上手に付き合う方法を考えなければいけません。その方法が分散投資や長期投資です。資産を株式、債券、不動産など異なる資産に分ける「資産分散」や複数の通貨に分ける「通貨分散」、一度に全額投資せずに何回かに分けて投資する「時間分散」。投資期間を長くして収益を得る機会を増やす「長期投資」などがあります。

こうした分散投資や長期投資に適しているのが投資信託です。メリットは▽少ない金額から購入できる▽株式や債券などに分散投資できる▽個人では買えない特殊な金融商品にも投資信託を通じて投資が可能▽専門家に運用を任せられる―など。投資信託にはさまざまな種類の商品が出ています。例えばＥＴＦ（指数連動型上場投信）は日経平均株価やＴＯＰＩＸ（東証株価指数）などの株式市場全体の指数連動タイプのほか、不動産や銀行、薬品など、業種別の指数に連動するものも上場されています。ＲＥＩＴ（上場不動産投資信託）は投資家から集めた資金で複数の不動産などを購入し、その賃貸収入や売却益を投資家に分配する商品です。実物不動産投資に比べて少額から投資可能であり、定期的に収益を期待したい個人投資家に向いています。

この機会にこれからの時代に合った資産運用について考えていただき、今後の生活をより豊かなものにしていただきたいと思います。

ふかの　やすひこ●1962年埼玉県生まれ。大学卒業後、クレジット会社を経て1989年に独立系FP会社に入社。以後、金融資産運用設計を中心としたFP業務を研鑽。1996年に独立し、現在のファイナンシャルリサーチ（2006年設立）は2社目の起業。FP業界歴25年目のベテランFPの1人。新聞、マネー誌や経済誌、各種メールマガジンへ執筆や取材協力、テレビ・ラジオ番組などの出演を通じて、投資の啓蒙や家計管理の重要性を説いている。新著は「1万円から始めるETF投資」（日本経済新聞出版社）。

運用会社の専門家との対談コーナー

NISAの活用で将来の資産形成を

対談

深野 康彦 氏 × 秋元 幸江 氏

大和証券投資信託委託株式会社　ファンド・プロモーション部　ディレクティブ・プレゼンター

（深野）ＮＩＳＡは株式、投資信託、ＲＥＩＴ、ＥＴＦなどが対象商品となります。個人が始めやすいのは投資信託ですが、それにしても種類がたくさんありますね。

（秋元）現在4500本くらいの投資信託が出ています。はじめての方が自分に合った商品を選ぶためのポイントを3つ挙げましょう。1つはわかりやすい商品を選ぶこと。2つ目は海外への投資を考える時は日本にはない魅力、例えば高金利や資源などに目を向けて、国内商品と重ならないものを選ぶこと。3つ目は、今後の物価上昇に負けないように、過去5～10年の運用成績を見て、3～5%の収益が期待できる商品を探すことです。

（深野）世代によっても選ぶ商品は変わってきますよね。

（秋元）リタイア世代の方は運用しながらお金を使われる方が多いので、毎月分配型の商品などもおすすめです。現役世代の方はお金を増やすのが目的になりますから、収益をあまり分配せず再投資するタイプがいいでしょう。

（深野）秋元さんは運用会社の方ですが、そもそも運用会社の仕事とは？

（秋元）簡単にいえば投資信託を作るのが主な仕事です。ファンドマネージャーや企業分析をするアナリスト、海外の経済や株価、為替を分析するエコノミストらがチームを組んで商品を運用しています。

（深野）投資信託は購入時と運用中に手数料がかかってきますが、ある意味、個人ができないことを手数料を払って専門家に依頼しているというイメージですね。

（秋元）そうです。情報が豊富なプロに運用を任せられるのが投資信託のメリットでもあります。多くの方から集めたたくさんの資金で投資できますからコスト面のメリットも大きいと思います。一つの商品の中には例えば50～100くらいの株式銘柄が入っていることになりますから、分散投資ができる点でも個人の方には有利です。

（深野）自分で国内株式に投資している方であれば、投資信託では海外に投資するファンドを選ぶなど、自分ができない部分を専門家に任せるという考え方もおすすめですね。ＮＩＳＡの後押しもありますから、投資信託を将来の資産形成に活用していただきたいですね。

あきもと　さちえ●1990年大和証券へ入社。支店での個人営業、プライベートバンキング部での上場企業役員中心の富裕層の資産運用に携わる。2005年大和証券投資信託委託へ入社。現職のファンド・プロモーション部にて証券・銀行への販売支援のため、大規模なセミナーや研修を通じて投資の普及、拡大に努める。

主催／一般社団法人投資信託協会、徳島新聞社、全国地方新聞社連合会　後援／金融庁、金融広報中央委員会、財務省徳島財務事務所、信託協会、全国銀行協会、日本証券業協会、日本損害保険協会、日本取引所グループ、（東京証券取引所、大阪証券取引所）、不動産証券化協会、共同通信社

あなたのライフプランに「投資信託」、考えてみませんか？

時間を有効活用してリスクを小さく。
【資産の分散】【長期の保有】【時間の分散】
投資信託はあなたの資産運用のお役にたちます。

ガイドブックプレゼント（各1冊セット）　無料

（2013年版）　（2013年版）

ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。
ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、
下記までご請求ください。
（お届けまで2週間程度かかる場合があります。）

〒103-0026　東京都中央区日本橋兜町2-1
東京証券取引所ビル6階　一般社団法人 投資信託協会TK係

※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

携帯電話はこちら

投資信託協会ホームページで

特設サイト　「NISAで投信はじめよう」を開設しました。　映像コンテンツやQ&Aで投資初心者の方にもわかりやすくNISAを解説！

新機能　投信総合検索ライブラリー
・交付目論見書の閲覧
・基準価額の検索やリターン計算
・取扱販売会社や販売会社別手数料の検索
など

[NISAで投信はじめよう]

投信協会　一般社団法人 投資信託協会　www.toushin.or.jp　投資信託協会　検索